

評価結果公表票

作成日 平成21年6月5日

【評価実施概要】

事業所番号	0272300641
法人名	医療法人慶成会
事業所名	グループホームすごう
所在地	青森県南津軽郡藤崎町大字葛野字新岡元56-1 (電話)0172-75-3330
評価機関名	社会福祉法人青森県社会福祉協議会
所在地	青森市中央三丁目20-30 県民福祉プラザ2階
訪問調査日	平成21年1月14日

【情報提供票より】(平成20年12月1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成14年11月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 人, 非常勤 人, 常勤換算 6人	

(2)建物概要

建物構造	木造	造り
	1 階建ての	1 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費10,200 円他	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	—	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		950 円	

(4)利用者の概要(平成20年12月1日現在)

利用者人数	17 名	男性	2 名	女性	15 名
要介護1	3 名	要介護2	6 名		
要介護3	7 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.5 歳	最低	59 歳	最高	97 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	須郷産婦人科医院 城東歯科医院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

全職員は地域密着型サービスの役割と意義を理解しており、利用者の意向や希望を把握しながら日々のケアを提供している。また、全職員で話し合い「地域の一員として、安全で穏やか、生きがいのある生活を支援します」という独自の理念を作成し掲げている。

母体が医療機関であるため、利用者の状態急変時や相談等を密にしているほか、希望に応じて往診や訪問歯科診療も行われ、医療支援体制が充実している。

町内会に加入しており、農協祭りや婦人フェスタ、ねぶた祭りなどの地域行事に参加したり、地域の方をホーム行事に招待するなど、積極的に地域との交流や連携を図っている。

ホーム見学や老人福祉協会からの実習生の受け入れのほか、民謡や踊りのボランティア、中学生の職場体験等の受け入れも行っており、事業所の持つ専門性を地域に還元すよう取り組んでいる。また、外部からの受け入れ時には誓約書を頂き、利用者のプライバシーには十分に配慮している。

運営者は職員の質の確保・向上に理解を示しており、外部研修への参加や資格取得を全面的に支援している。

【特に改善が求められる点】

権利擁護事業や成年後見制度について内部研修の進め方や職員の理解度を確認しながら、全職員が制度の概要を理解することに期待したい。

虐待を発見した場合の報告の流れ等の取り決めについては現在作成中であり、その取り決めを全職員が理解することに期待したい。

今後、やむを得ず身体拘束を行う場合に備えて、その理由や方法、期間、経過観察等の記録を残す体制を整え、家族等への説明や同意を得る体制を整えることに期待したい。

今後、やむを得ず施設を行う場合に備えて、家族等への説明や同意を得る体制を整えることに期待したい。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価結果を基に、改善項目を職員会議等で話し合い、具体的な改善計画を策定しており、より良いサービスを提供するよう取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員は、自己評価を行うことで、日々のケアについての振り返りやあり方、自分達では気づかない部分が見え、日々のケアを再確認する良い機会であると捉えている。また、自己評価についての話し合いや意見交換を行い、全職員で取り組み、管理者が意見をまとめて作成している。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2ヶ月に1回開催しており、利用者の暮らしぶりやホーム行事、自己評価、外部評価結果等を報告している。会議では議題のほかにも活発な意見交換が行われており、メンバーの参加率も高い。また、出された意見等はサービスに反映させている。</p> <p>会議には行政担当職員も参加していることから、ホーム内外の意見を発言できる場となっている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>面会時やホーム便りで利用者の暮らしぶりや健康状態、行事の様子などを、担当者のコメントを添えて報告している。また、金銭管理状況についても毎月報告を行っている。</p> <p>内部・外部の苦情窓口は重要事項説明書に明記しているほか、ホーム内に掲示している。また、面会時や電話等でも、随時意見や気づきを話せるよう働きかけており、出された意見等は速やかに対応し運営に反映させている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>散歩時に挨拶を交わすほか、近隣のスーパーへ買い物に出掛けたり、花やねぶたを頂いたりしている。また、町内会に加入し、婦人フェスタ等の地域行事への参加やホーム行事への招待など、積極的に交流を図っている。</p> <p>ホーム見学や実習、職場体験、ボランティア等も受け入れており、できる範囲内で事業所の持つ専門性や実践経験を地域に還元するよう取り組んでいる。</p>

【各領域の取組状況】

領域	取り組み状況
I 理念に基づく運営	<p>職員全員で話し合い、地域密着型サービスの役割と意義を意識した独自の理念が作成されている。</p> <p>日々の散歩や農協祭り、婦人フェスタ等の地域行事に参加するほか、ホーム行事への参加の呼びかけを行うなど、地域との交流を更に深めるよう取り組んでいる。</p> <p>運営者の方針で職員研修や資格取得の支援体制が整備されているほか、同業者との交流や連携を積極的に持ち、更なる職員の育成やサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>
II 安心と信頼に向けた関係作りと支援	<p>入居前にホーム見学等を行い、他利用者や職員と過ごすことで馴染みながら入居に移行できるように配慮をしている。また、本人や家族の意向に沿ったサービスを提供できるよう十分に話し合いを行い調整している。</p> <p>アセスメントを詳細に行い、利用者の得意な事、こだわり、意向等を把握し、調理や畑作業、チラシを使った小物作りなど、職員も一緒に作業をし、支え合いながら生活を共にしている。</p>
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<p>介護計画作成時は職員の気づきや意見を話し合い、利用者や家族の意向や意見を反映させ、個別具体的な計画作成に努めている。また、計画の実施期間を明示しているほか、状態変化や意向の変更時などは医師も交えて随時見直しを行っている。</p> <p>重度化や終末期の対応については方針を明確にし、家族に説明を行い同意を得ている。状態の変化や意向の変化時には随時話し合い、意思統一を図っている。</p>
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<p>外出時はりんごもぎやレストランで食事をしたり、自宅等への外泊など利用者の希望を取り入れるほか、利用者の状態やその日の気分に合わせて柔軟な支援を行っている。</p> <p>ホームの一日の流れはあるが、食事時間や入浴時間など無理強いくることなく利用者のペースを尊重している。</p> <p>居室には鏡や家族写真、花、表彰状等の入居前から使用していた馴染みの物が持ち込まれているほか、配置も利用者や相談しながら行っており、一人ひとりに合わせた居心地良く過ごせる居室作りを支援をしている。</p>

評 価 報 告 書

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを 期待したい 項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	管理者、全職員は地域密着型サービスの役割を理解している。全職員で話し合い、「地域の一員として、安全で穏やかな、生きがいのある生活を支援します」という現状に即した独自の理念を作成している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を玄関や事務室に掲示しているほか、申し送り時に唱和したり職員会議で話し合うなどして全職員に周知している。また、職員は理念を理解しており、日々のケアに反映させ理念の実現に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	散歩時に挨拶を交わすほか、近隣のスーパーへ買い物に出掛けたり、花やねぶたを頂いたりしている。また、町内会に加入し、婦人フェスタ等の地域行事に参加したり、ホーム行事に招待するなど、積極的に交流を図っている。ホーム見学や実習、中学生の職場体験、民謡や踊り等の町外からのボランティアも受け入れており、できる範囲内で事業所の持つ専門性や実践経験を地域に還元するよう取り組んでいる。外部から人を受け入れる際には誓約書を頂き、利用者のプライバシーに十分配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部研修や内部研修等で運営者・管理者を始め、全職員が自己評価及び外部評価の意義を理解している。自己評価は全員で取り組んでおり、前回の改善事項は具体的に改善計画を策定しており、改善に繋げている。		
5	6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催しており、参加率も良い。会議ではホームでの取り組みや利用者の暮らしぶり、自己評価、外部評価結果を報告しており、それについての意見やアドバイスを頂くことで、ホームのサービス向上に活かしている。		
6	7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政の窓口にはパンフレットを置いているほか、運営推進会議のメンバーに行政担当者もおり、ホームの運営や利用者についての相談等を行うなどの連携が図られている。		
7	8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者は利用者の入居時に制度について説明を行っているほか、必要に応じて関係機関と調整し、活用できるよう支援している。また、外部研修に参加し、ホームで内部研修を行うなど学習する機会を設けているが、全職員が制度の概要について理解するまでには至っていない。	○	内部研修の進め方や職員の理解度を確認しながら、全職員が制度の概要を理解することに期待したい。
8	9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員が交互に外部研修に参加し、その後内部研修を行うことで全職員に周知している。また、管理者は日々のケアで虐待が見過ごされることがないように努めている。虐待についてのマニュアルや発見した場合の対応方法を作成しているが、報告の流れ等の書類を整備するまでには至っていない。	○	報告の流れ等の取り決めについては現在作成中であり、その取り決めを全職員に周知し理解することに期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書を基にホームの方針等を分かり易く説明し同意を得ているほか、利用者・家族の意見や疑問等を引き出すよう働きかけており、十分に納得した上で契約を行っている。また、契約改定時や退去時にも十分に説明を行い同意を得ているほか、退居時は関係機関と連携を取り、情報提供などの支援を行っている。		
10	12	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時やホーム便りで利用者の暮らしぶりや健康状態、行事の様子などを、担当者のコメントを添えて報告している。また、金銭管理状況についても毎月報告を行っている。		
11	13	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	内部・外部苦情受付窓口を重要事項説明書に明記し、ホーム内に掲示している。また、面会時や電話等でも、随時意見や気づきを話せるよう働きかけており、家族は面会時に必ず職員と話す時間を持っている。出された意見等は速やかに対応し運営に反映させている。		
12	16	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は職員交代等による利用者への影響を十分理解し、最小限に抑えたいと考えている。ここ1年間は異動等は行っておらず、開設時からの職員も多数勤務している。退職者と入職者は1ヶ月間共に業務に就き、詳細な引継ぎを行っているほか、利用者の状態に合わせて十分に説明を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は職員の質の確保・向上の必要性を理解しており、外部研修への参加や資格取得の全面的な支援を行っている。また、職員は力量や経験に応じた外部研修へ参加し、研修後は報告書を作成し、内部研修を行うことで全職員への周知に取り組んでいる。来年度のことも考慮した年間研修計画を作成中である。		
14	18	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県、中弘南地区グループホーム協会に加入しており、研修や懇親会等を通じて交流や連携を図り、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前にホーム見学等を行い、他利用者や職員と過ごすことで馴染みながら入居に移行できるように配慮をしている。また、本人や家族の意向に沿ったサービスを提供できるよう十分に話し合いを行い調整している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	アセスメントを詳細に行い、利用者の得意な事、こだわり、意向等を把握し、調理や畑作業、チラシを使った小物作りなど、職員も一緒に作業をし、支え合いながら生活を共にしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントを詳細に行い、利用者の意向を把握しているほか、日々の会話や行動から意向等の変化の把握に努めている。意向の把握が困難な方に対しては表情や行動等で把握するほか、家族等からの情報収集を行っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画作成時には、利用者の意向を可能な限り聞き、家族からも情報や意向を収集している。また、カンファレンスでは担当者が利用者の日々の様子等を説明し、全職員の気づきや意見を取り入れて個別具体的な計画を作成している。		
19	34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	実施期間を明示し状態変化や意向の変化時には医師を交えて随時計画の見直しを行っている。見直し時は家族からの情報収集や、再アセスメントを行っているほか、日々の申し送りや個人記録等を詳細に行い、利用者の状態変化の把握に努めている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームの車輛を使用し、希望する医療機関への受診や馴染みの美容院への外出、墓参りなど柔軟な支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	これまでの受療状況を把握し、利用者や家族が希望する医療機関への受診を支援をしている。また、母体の医療機関にいつでも相談できるほか、利用者の希望に応じて往診や訪問歯科を取り入れている。受診時はできる限り家族に同行してもらうよう働き掛けているほか、受診後は電話で速やかに報告を行い、家族と情報の共有をしている。		
22	44	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期の対応について、ホームの方針を明確にしており、入居時に説明し納得を得ている。重度化や終末期に移行した場合には随時家族や医療機関を交えた話し合いを行い、意思統一を図っているほか、アセスメント表に意向を記載し、全職員が確認できるよう取り組んでいる。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
23	47	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の言動や行動を否定せず、尊重した対応を心がけており、ケア時の声がけ等は、プライドを傷つけないようさりげなく行うなどの配慮をしている。また、全職員が個人情報保護法について理解しているほか、利用者個人に関わる記録等は事務室に保管している。		
24	49	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は利用者優先という姿勢でケアを提供しており、無理強いせず、利用者のペースやその日の状態に合わせており、利用者が落ち着いて穏やかに過ごせるように支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みや苦手な物を把握し、季節の食材を取り入れた献立となっているほか、利用者は一人ひとりの力量や得意な事を活かしながら、後片付けなどを職員と一緒にやっている。職員はさりげなく食べこぼしのサポートをしながら利用者と一緒に食事を摂っている。		
26	54	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	アセスメント等で好みなどを把握し、週2回の入浴日だが、可能な限り利用者の希望に対応している。入浴を拒否する場合は無理強いせず、時間をずらしたり、別ユニットの入浴日に声がけをするなどの工夫をしている。職員は2人配置しており、羞恥心や安全面に十分配慮し見守りを行っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	アセスメント等で把握しているほか、入居後も気晴らし等の変化に注意をしている。畑作業、新聞の好みの記事を写し書きする、自分の居室の掃除、花の水やり等、一人ひとりの役割や楽しみごとを促す支援をしている。		
28	58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	町内の散歩、近所のスーパーへの買い物、ドライブ等日常的に外出する機会を設けている。また、利用者の希望を取り入れるほか、身体機能や精神状態に応じた場所や移動時間に配慮をしている。少人数編成で外出したり、外出をしない利用者は出前を取って楽しむなど柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部研修に参加した後は内部研修を行い、全職員が周知している。身体拘束は行わない方針でケアを行っている。やむを得ず身体拘束を行う場合のマニュアルを作成しているが、その理由や方法、期間、経過観察等の記録を残す体制を整えるまでには至っていない。	○	今後、やむを得ず身体拘束を行う場合に備えて、その理由や方法、期間、経過観察等の記録を残す体制を整え、家族等への説明や同意を得る体制を整えることに期待したい。
30	63	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は自由に出入りができるよう玄関には施錠していない。外出傾向のある利用者は見守りや位置確認をし、外出の際は職員が付き添っている。また、無断外出時に備え、運営推進会議等で協力を得るよう働き掛けている。しかし、やむを得ず玄関に施錠等を行う場合に、理由を明確にし、家族等への説明を行い、同意を得る体制を整えるまでには至っていない。	○	今後、やむを得ず施錠を行う場合に備えて、家族等への説明や同意を得る体制を整えることに期待したい。
31	68	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	日中だけではなく、夜間も想定した具体的な避難誘導策を作成していると共に、消防署の協力を得て年2回避難訓練を行っている。また、避難場所の確保や災害時における警察署、消防署、近隣から協力が得られる体制を整備している。災害時の発生に備えて水や食料、コンロ等の物品を用意している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	母体の医療機関の栄養士の助言をもとに、職員が献立を作成しており、栄養バランスや一人ひとりの状態、習慣に応じた献立となっている。一日の総摂取量1800～2000kcal、総水分摂取量は約1000mlであり、食事量は毎回記入し、水分量は必要に応じて記録をしている。		
33	75	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し、職員会議や流行時に合わせて学習会を行っている。必要時にはマニュアルの見直しや情報収集を行っている。また、感染症の流行時にはホーム便りで家族にお知らせするほか、玄関に掲示し周知を図っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
34	78	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内は木を多く取り入れており、共有空間にはゆったりとしたソファや季節の花が飾られ、家庭的な雰囲気である。また、廊下にも椅子を置き、好みの場所で過ごせるよう配慮している。カーテンで日射しを調節しており、照明やテレビの音量は、職員の声や足音などは適当であり、居心地良く過ごせるよう配慮している。		
35	80	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には鏡や家族写真、花、表彰状等の入居前から使用していた馴染みの物が持ち込まれており、配置も利用者と相談しながら行っており、一人ひとりに合わせた居心地良く過ごせるような居室作りを支援をしている。		

※ は、重点項目。